

令和5年度 授業改善推進プラン

青梅市立西中学校

教科名

理科

科

1 生徒の実態

1年	2年	3年
<ul style="list-style-type: none"> ○発問に対し、積極的に発言をする生徒が多く、授業に集中して取り組んでいる。 ○自分の考えを文章に表すことが苦手な生徒が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「科学的な事象への関心・意欲・態度」は良好であるが、積極性に欠ける。 ○「実験技能」は意欲はあるが、まとめる力が不足している ○「科学的な思考・判断・表現」は文章にあらわすことはある程度はできる。 ○「科学的事象への知識・理解」は学習内容の定着は生徒間で大きな差がある 	<ul style="list-style-type: none"> ○「基礎的・基本的な知識・技能」では、学習内容の定着に個人間で大きな差がある。 ○「科学的な思考力・判断力・表現力」は間違えることを避けようとし、自分の考えを表すことに消極的な生徒が見られる。 ○「主体的に学習に取り組む態度」は、実験に対して積極的に取り組む様子が見られる。また普段の授業も集中して取り組んでいる生徒も多い。

2 指導上の課題

1年	2年	3年
<ul style="list-style-type: none"> ○授業の目標に対して、自分の意見を考え、話したり書いたりできるようにする。 ○観察や実験結果からの考察につなげるために、知識・技能の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○結果を元に自分の言葉で考察をまとめることができるようになるのが課題。 ○知識の習得が不十分な生徒への課題を克服する指導が必要。また、習得した知識を元に自分の考えをまとめる指導が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ○実験を基に、結果や考察を自分の言葉でまとめる力を高める。 ○知識の習得が不十分な生徒への課題を克服する指導が必要である。 ○グループでの話し合いなどを通し、自分の意見を考え表現する指導が必要である。

3 授業改善の視点とその方策

1年	2年	3年
<ul style="list-style-type: none"> ○身近な自然の事象を提示するなど、生徒が興味・関心を持ち、授業に取り組めるような教材を用意する。 ○明確な目標を提示し、観察、実験などを通して考える機会を設けることで、科学的に探求を行う力を養う。 ○生徒一人一人の基礎力の定着を図るために授業で小テストを実施するなど、反復練習を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ねらいを明確に提示することで、授業の目標を認識させ、授業に取り組む姿勢を高める授業を心がける。 ○日々の授業で復習を行うことで既習内容をより深く理解し、日常に関連できるようにする。また、生徒一人一人の基礎力の定着を図るために授業で小テストを実施するなど、反復練習を実施する。 ○宿題や課題を用いて家庭学習の時間を増やし継続した学習時間の確保を目指す 	<ul style="list-style-type: none"> ○ねらいを明確に提示し、授業の目標を認識させる。また、授業内でも狙いの確認を行う。 ○教材を身近なものを用いるなど、生徒が興味関心をもてるよう工夫を行う。 ○生徒一人一人の基礎力の定着を図るために授業で復習プリントを行う。また、小テストを実施するなど、反復練習を実施する。 ○ICT機器を利用し、自分の意見を表現しやすい環境をつくる。